

人文書(日本歴史、伝記) ご担当者様

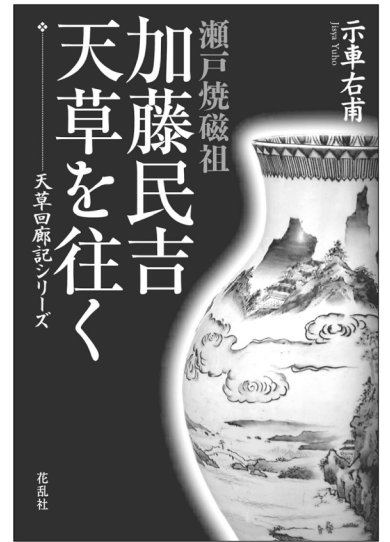
花乱社 ◆ 5月中旬刊

『瀬戸焼磁祖 加藤民吉、天草を往く』

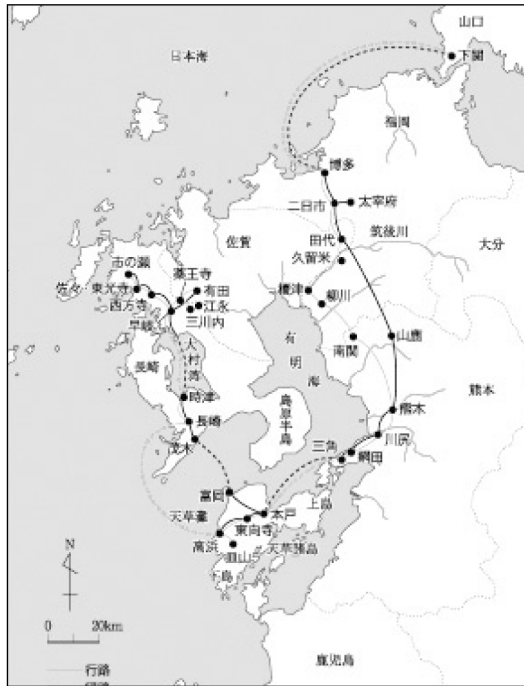
示車右甫 著

四六判並製 284ページ 定価1,728円(本体1,600円+税)

ISBN978-4-905327-46-2 C0021



瀬戸焼の礎を作った磁祖・加藤民吉の知られざる九州での修業時代とその生涯



地図：民吉の九州での足取り（1804～07年）



九州に唯一現存する民吉作「懷き柏向付」

■ 民吉の足跡を史実に基づき忠実に追った歴史小説 ■

文化元（1804）年、熱田奉行津金胤臣より命を受け、瀬戸の陶工民吉は、天草の東向寺・天中和尚を頼って一人九州へと渡る。日本での磁器生産は17世紀初頭、有田を中心に始まったが、瀬戸では200年立ち遅れていた。

下関から博多、熊本と旅し天草へ。そこから4年の間、高浜焼、三川内焼、佐々・市の瀬焼、有田焼と、肥前・肥後各地の皿山を遍歴する中で、様々な苦難を乗り越え、天草陶石と出会い、ついに色絵の秘伝に達する――。

瀬戸に戻った民吉は磁器焼の振興に尽くし、瀬戸焼は飛躍的な発展を遂げる。現在、民吉は窯神社に祀られている。



窯神社の民吉の銅像

■ 著者略歴

示車右甫（じしゃ・ゆうほ）

1931年、福岡市に生まれ。

【著書】

- 『断食者崩壊』（1967年、福岡市民芸術祭賞）
- 『天草回廊記』（上・下、文芸社、2006・08年）
- 『対馬往還記』（海鳥社、2009年）
- 『天草回廊記 志岐麟泉』（海鳥社、2010年）
- 『天草回廊記 隠れキリシタン』（海鳥社、2012年）
- 『廃仏毀釈異聞』（海鳥社、2014年）
- 『歴史探訪 天草興亡記』（海鳥社、2015年）

貴店番線印	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-905327-46-2 C0021
				瀬戸焼磁祖 加藤民吉、天草を往く
	冊		様	定価1,728円(本体1,600円+税)
図書出版花乱社 福岡市中央区舞鶴 1-6-13-405 TEL 092-781-7550				

■取扱＝地方・小出版流通センター

*ご注文は、花乱社 FAX 092-781-7555 まで お願い致します。